



久慈300kmの活動を終えて

ヤングライオン A班 活動報告

2019年10月22日から24日



ヤングライオン メンバー

- ・ 中野 めぐみ リーダー
- ・ 佐藤 潔史 サブリーダー
- ・ 井上 悠也 連絡係、会議議事録、入力諸々
- ・ 押谷 晴美 環境整備(食事・生活)、資材管理、JSPEED、避難所アセスメント
- ・ 鈴木 康史 環境整備(食事・生活)、資材管理、JSPEED、避難所アセスメント
- ・ 原見 明尚 クロノロ
- ・ 平田 晶子 EMIS、避難所アセスメント
- ・ 野口 明子 クロノロ

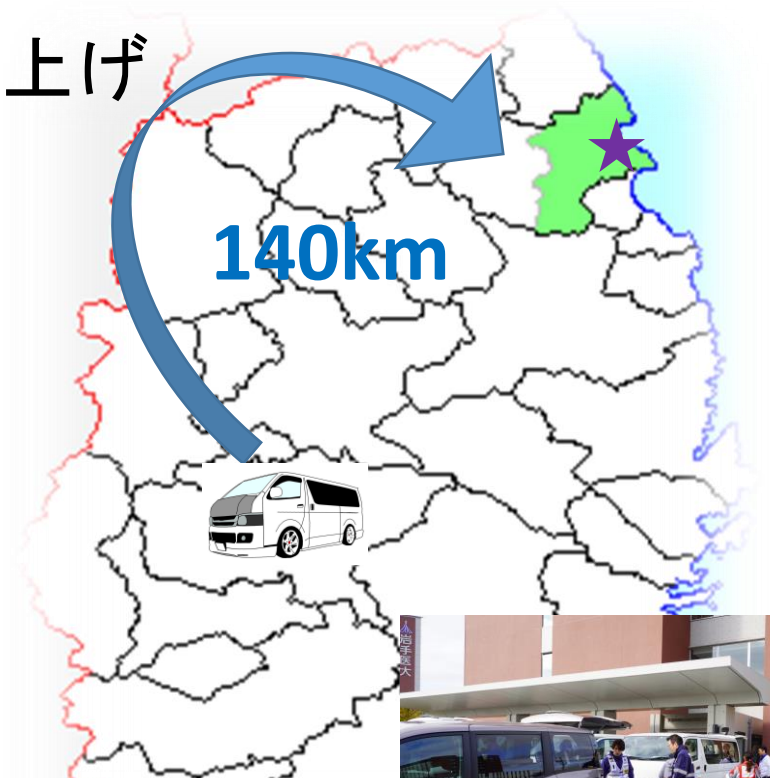


インストラクターの方々 高桑さん、小西さん、岩崎さん、千葉さん、池田さん



活動概要

- 久慈市保健所にて、保健医療調整本部の立ち上げ
- 第一回保健医療調整会議開催
- 各病院のモニタリング継続
- 医師会・災害医療コーディネーターと連携
- 避難所アセスメント
- 有事の際の人員配置、次チームへの引き継ぎ



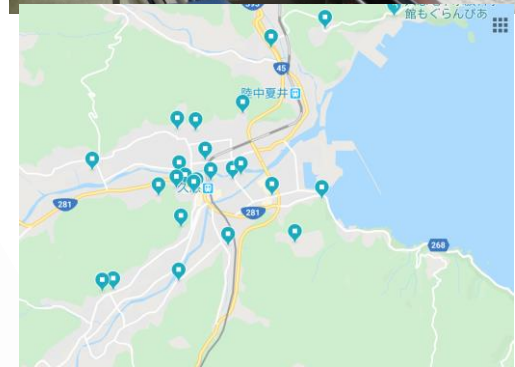


本部活動

クロノロジー

情報の集約

EMIS入力



避難所マッピング





医師会と連携 避難所アセスメント

Assessment



帰りは道に迷いました。。



医師会には通信が確立しておらず



徒歩で向かった



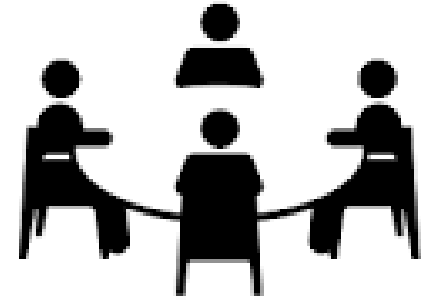
ただいま帰りました！



避難所30箇所のうち5箇所を訪問



第一回久慈医療圏保健医療調整会議



Command
&
Control

我らが
リーダー



災害医療コーディネーター 災害医療コーディネーター
久慈医師会理事 医師会副会長 久慈県立病院
医師 保健師

関係機関を
集めて
会議を開催

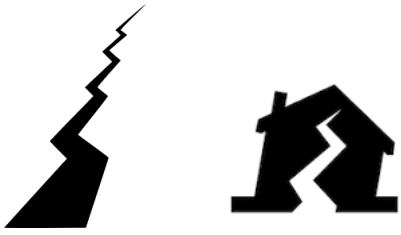


課題と今後の計画

- 病院支援 主要4病院のライフラインが枯渇、病院避難の危機！
県庁との連携、医療ニーズのアセスメントを再度行う
開業医に関しては医師会と連携を図り情報共有を行う
- 避難所アセスメント 避難者多数、医療ニーズも存在
医療チームを投入しスクリーニングをしていく
JRAT、DPAT、DHEAT、ICATの依頼
- 透析患者 県庁と連携し透析可能病院へのマネージメントを行う
- 福祉施設、災害時要支援者への対応 保健所との連携
- 次医療チームへの引き継ぎ



余震



Safety



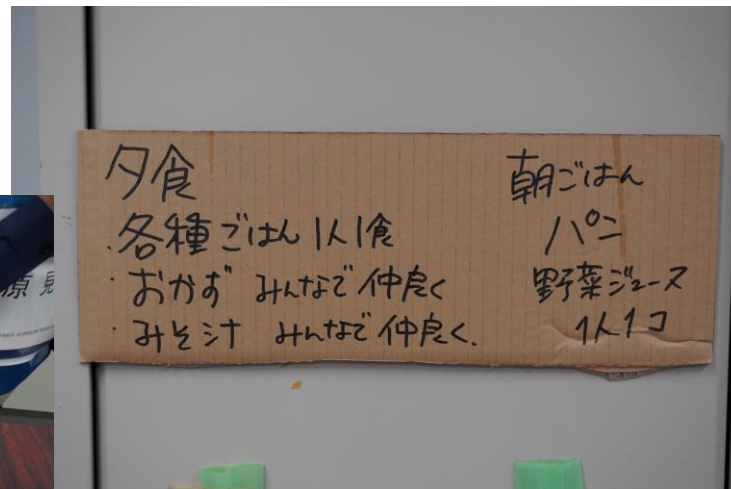
安全管理  自分達は、建物は、地域は？病院は？



生活



シェフがしっかり献立を考えてます



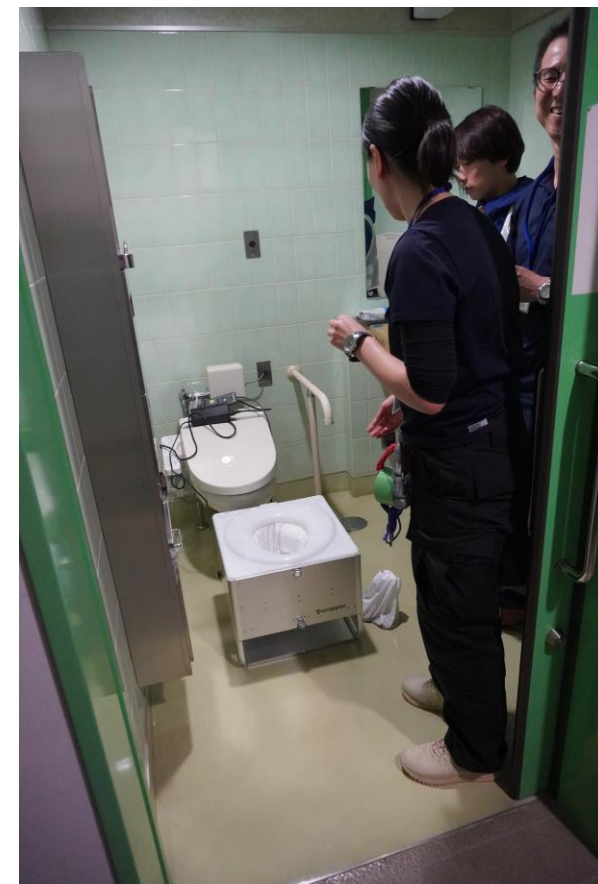
ラップポン設置



食事はみんなで仲良く食べました



プライベート空間を確保するのに
テントも設置





色々な方にお世話になりました！
皆さん、ありがとうございました！

